

今週のセルグループ(赤字)			12月28日(日)～1月3日(土)	
セル	次回の日時	場 所	前回の証しなど	
グレイス 鈴木千姉	1/11(日) 午後4:00	鈴木宅	12/26 4名	天国に行ってほしいと気持ちを伝えることができ、母の気持ちも聞くことができました。
Gospel 鈴木尚姉	未定		12/13 3名	近況を伺い、お祈りをしました。
オイコス 磯貝姉	12/28(日) 礼拝後	LINEで 分かち合い	12/14 7名	家族に頼みにくいと考えて頑なになっていたことに気付かされました。
からし種 磯貝姉	1/8(木) 午前10:00	Zoomで 分かち合い	12/25 4名	明日の心配はしないように。待ちなさいと言われて従うことで、心が落ち着きました。
ユース 岩下兄	1/18(日) 礼拝後	平岩宅	12/24 2名	ありのままだが愛されている。たとえ時間がかかってもやろう、と変えられ喜んでできた。
Rock 鈴木洋兄	1/7(水) 午後8:30	鈴木宅	12/17 4名	イエス様にのみ求める以外に、まことの満たしを得ることはできない。
シャローム 平岩姉	1/10(土) 午前11:00	平岩宅	12/13 3名	機嫌が悪くなりそうなときは、イエス様どうすればいいですかと神様と会話した。
リジョイス 杉本姉	1/13(火) 午前10:30	第二教室	12/16 4名	交わり。お弁当を注文して、皆で美味しく味わいました。
なつめやし 高橋姉	12/28(日) 礼拝後	高橋宅	12/7 7名	食事をしながら、今後の交わりについて計画しました。また、必要をお祈りしました。
ジョイフル 穂刈兄	12/29(月) 午前11:30	モティベ ション大学	12/14 13名	交わりをしました。自己紹介とそれぞれ救いのきっかけを分かち合いました。
アガペ 長塚姉	1/11(日) 礼拝後	交わり	12/12 3名	自分なりの言い分を言うのではなく主が働いておられる事を感謝して面談。祝福された。
サクセス 鈴木勝兄	12/28(日) 礼拝後	交わり	11/9 10名	セルリーダーのためにお祈りください。
リーダーズ セル	1/14(水) 午後7:00	Zoomで 分かち合い	12/10 31名	セルリーダーができていることが嬉しいこと。励まされて生活の役に立っていること。奉仕はやりたくてするもの、やりたくてするから楽しいものと改めて教えられた。
ビジョン 平岩恵兄	1/18(日) 午後3:30	LINEで 分かち合い	12/7 2名	中止しました。
worship 長塚寛兄	未定	長塚寛宅	11/9 名	
牧場の羊 平岩姉	12/28(日) 午前8:30	第三教室	12/21 7名	二つに分かれメンバーの発表をじっくり聞いて祈りあっていた。聖霊に導かれるように。
中学生 梅田姉	12/28(日) 午前8:30	第四教室	12/21 3名	ドラムを叩くことになり、緊張もあったがそのありのままで神様に助けてもらった。
キッズ2 小山姉	12/28(日) 午前8:30	第二教室	12/21 名	セルリーダーのためにお祈りください。
キッズ1 芳井姉	12/28(日) 午前8:30	コイノニア ルーム	12/21 5名	セルリーダーのためにお祈りください。
Shine 神谷光姉	12/28(日) 礼拝後	エステル	11/23 2名	自分を励ましていました、喜んでいなさいと語られた事を思い出し、喜んで過ごした。
ギデオン 芳井兄	1/10(土) 午後6:30	芳井宅	12/13 3名	喜ぶのは主ご自身を喜ぶ。自分とイエス様が仲良く対話できていることを喜んだ。
カルバリ 野田兄	12/28(日) 午後7:00	交わり	11/18 8名	機嫌良く過ごすことで、自分自身も周りも状況も変わっていくことを教えられました。
クロス 野田兄	12/28(日) 午後7:00	交わり	11/15 7名	話をすることから逃げていた。主の命令を聞いて勇気を出したらちゃんと話ができた。

神の家族 伊岐見真姉	12/28(日) 礼拝後	LINEで 分かち合い	12/17 2名	どんなときも神様が働いて下さっていますので、すべてのことに感謝します。
ぶどうの枝 成瀬兄	12/28(日) 午後4:00	Zoomで 分かち合い	12/19 4名	苦しみの中にいた状態からメッセージによって進むべき方向を変えられたことに感謝。
恵み 菅原姉	12/28(日) 礼拝後	KODAMA	12/7 3名	食事の交わりをしました。兄弟が恐れに向き合うように、みんなで祈りました。
オアシス 蟹江姉	12/28(日) 礼拝後	交わり	12/10 3名	アイスブレイクと来年のセルの日程を決める中で、メンバーの話をゆっくり聞きました。

礼拝奉仕		聖 日 礼 拝			祈 祷 会	
			司 会	奏 楽		奏 楽
今 週	12/28 (日)		大高愛姉	鈴木千姉	1/1 (木) 元旦礼拝 祈祷会	鈴木千姉
		午前10時より				
来 週	1/4 (日)		大高愛姉	鈴木千姉	1/8 (木) 聖餐式	鈴木千姉
		午前10時より				
12/31 (水) 年越礼拝			大高愛姉	鈴木千姉	午後11時より	

※ 12月31日(水)は午後11時から年越礼拝が行われます。続いて元旦礼拝と祈祷会も行われます。また31日は夕刻から交わりもあります。(一品持ち寄り)ご参加ください。

祈 り の 課 題	・人々の救いを覚えて ・家族知人をキリストへ ・教会近隣の人々の救い ・東海地方の救いのために ・日本の救いのために ・世界の救いのために	・プレーヤーハウスの祝福のために ・働きを覚えて ・バイブルスタディの働き ・リバイバルクワイヤーの働き ・リバイバルママズの働き ・那古野アウトリーチの働き ・祈祷会の祝福 ・日曜礼拝の祝福 ・牧師の働き
	・ギデオン協会の働きのために ・セルグループの祝福 ・LTG人生変革グループの祝福	

聖 日 礼 拝	(日曜)	(第一)	午前 10:00～11:30
キッズセル(子供礼拝)	(日曜)		午前 8:30～9:50
日曜礼拝バイブルスタディ	(日曜)		午前11:45～午後1:00 ☆礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ	(第1、第3火曜)	(昼) (夜)	午後 1:00～ 2:30 午後 7:00～ 8:30
祈 祷 会	(木曜)		午後 7:00～ 8:30
特別早天祈祷	(木曜)		午前 6:00～ 7:00

日曜日は教会へ

主の御手がともにある
名古屋バイブルチャーチ
〒451-0042 名古屋市西区那古野2-20-19
TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝

主の御手

2025年12月28日(日) 発行 12月第4週

私たちのビジョン
〔宣教〕
(使徒の働き11:21)

主の御手が彼らとともにあったので、
大ぜいの人が信じて主に立ち返った。

日曜礼拝

開始 10時
開始 13時30分 (浜松礼拝)

- 讃美
- 祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- 聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- 讃美
- メッセージ
- 祈り
- 神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- 主の祈り (初めての方はスクリーンをご覧ください。)
- 自由献金 (本日は、クリスマス集会の必要のための献金が特別にあります。ご意志で自由にどうぞ。)
- 連絡

お 願 い

(1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。
(2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄るようお願いします。重要なお知らせなどがあります。

今年のテーマ

あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして、あなた
〔主を愛する〕の神、主を愛しなさい。(申命記6章5節)



人は死んだらどうなるか

『モーセと預言者たちに耳を傾けないのなら、たとえ、だれかが死人の中から生き返っても、彼らは聞き入れはしない。』」

金持ちとラザロのたとえ

冒頭のみことばは、イエス様のたとえ話です。聖書の中で、人は死んだらどうなるのかを教えている箇所です。「ある金持ちが贅沢三昧に暮らしていましたが、彼の家の門前には、ラザロという皮膚病を患った乞食が寝ていました。やがて二人とも死を迎えました。ラザロは天国へ連れて行かれましたが、金持ちは地獄の火の中に入れられました。彼は苦しみながら、ラザロが助けに来るよう懇願しますが、天国と地獄の間には「大きな淵」があり渡れません。彼はせめて自分の兄弟たちがここに来ないように知らせてほしいと願います

さったイエス・キリストを信じることです。信じる者は罪赦され、死から解放されて永遠のいのちを得ます。ですから、誰でもこの地上の生活を歩む中で一番大切なことは、聖書に書いてある神のことばを聞いて従うこと、信じることです。

聖書のことばを聞いて従う

ですから、すべての人は、この地上に生きている間に聖書のことばに聞き従い、イエス・キリストを信じなければなりません。そして、すでに信じて救われた人は、救いの恵みに感謝しつつ、家族や知人、また世界中のすべての人々が、ともに天国に行けるように祈り、時がよくても悪くても、熱心にイエス・キリストを宣べ伝えなければなりません。そのために、まず自分自身が聖書のことばに聞き従い、主と同じあわれみの心をもって、周りの人々をありのままで愛して生きようとするのが大切です。

今年の教会のテーマは「主を愛する」でした。神様の願いはすべての人が滅びることなく、永遠の命を持つことです。年が改まっても変わることなく、主と同じ気持ちで「心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして（申命記6：5）」主を信じ、主に従って歩んで参りましょう。（鈴木千史）

が、生きている間に聖書を信じるほかには、救いの道はないと告げられました」。このたとえから、人が死ぬ時、霊は生き続けて天国か地獄のどちらかに行くことと、二つの場所は決して行ったり来たりできないことがわかります。

死後の運命を分けるもの

聖書には、神を信じた者は「名が天に書き記されている（ルカ10：20）」とあります。このたとえでラザロは名前を呼ばれていることから、神を信じ神にすがって生きていたことがわかります。一方金持ちは、隣人をあわれむこともせず自己本位に生きていました。彼は聖書のことばを知っていたはずですが、従おうとしていませんでした。死後の運命を分けるのは、神への信仰であることが教えられています。

死の解決は聖書にある

人の人生はさまざまで、生涯恵まれた人生を送る人もいれば、苦勞の多い人生を送る人もいます。しかし、すべての人に平等に、必ず訪れるものは「死」です。これから逃れられる人は誰もいません。人は死を恐れ、日頃できるだけ目を背けて生きています。

ところが、聖書は死の解決の方法を明確に教えています。それは、私たちの罪の身代わりとなって十字架で死んでくだ

クリスマスコンサートCD・DVD作成奉仕感謝

12月20日（土）には、クリスマスコンサート&メッセージが行われました。たくさんのゲストの方をお迎えして、主の福音をお伝えできましたことを神様に感謝します。

先週はコンサートのCD・DVD作成のご奉仕が行われました。DVDの作業では、録画した映像をパソコンの編集ソフトに取り込み、音量のチェックや、チャプターをつけるなどして編集した後、データをDVDに書き込む作業が、数日にわたって念入りに行われていました。主にあるご奉仕を感謝します。



DVD作成のご奉仕